

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻特別講座

新実徳英

作曲家自身によるレクチャー



Photo by A. Kondo

新実徳英（にいみ・とくひで）

東京大学工学部卒業。東京芸術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修了。

1977年ジュネーブ国際バレエ音楽作曲コンクールにてグランプリ並びにジュネーブ市賞を受賞。1982年文化庁舞台芸術創作奨励賞並びに特別賞を受賞。1984年度文化庁芸術祭優秀賞受賞。ISCMに入選。2000年第18回中島健蔵音楽賞受賞。2003年別宮賞受賞。2004年「風神・雷神」のCDが文化庁芸術祭大賞を受賞。2005年愛・地球博記念オペラ《白鳥》が世界初演され、この公演に佐川吉男音楽賞が授与される。2006年初演された「協奏的交響曲〜エランヴィタール〜」が第55回尾高賞を受賞。管弦楽作品の多くは国内ではNHK交響楽団をはじめ主要なオーケストラで、海外でもスイス・ロマン管、オランダ放送響、BBCスコティッシュ、フランス国立放送響、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ニュルンベルク・シンフォニー、ハンブルク・カメラータ、香港フィルハーモニー等のオーケストラにより演奏され高い評価を得ている。室内楽、器楽、邦楽、合唱作品等多数。特に詩人谷川雁との共作「白いうた 青いうた」全53曲は様々にアレンジされ“世代を超えて歌い継がれる歌”（畑中良輔）として広く支持されている。3.11震災後、作品にA.E.番号（after the Earthquake）を付した。ちなみにA.E.1は〈弦楽四重奏曲 Asura〉。福島のパシフィック・オーケストラの「詩の礎」による歌集「つぶてソング」（全12曲）は広く歌われ、同じ詩人による合唱組曲〈決意〉、〈黙礼スル第1番、第2番〉〈ふとロザさむ〉は各々に鮮明な問題意識を表出している。

2011年ヴァイオリン作品個展、2013年室内楽作品個展を開催。2018年ニューヨークで開催されたミュージック・フロム・ジャパン音楽祭のテーマ作曲家として招かれ新作ピアノ五重奏曲を含む作品展が好評を博した。2019年4月開催の「つぶてソングの集い in 南相馬」は第7回ウィーンフィル&サントリー音楽復興祈念賞受賞。桐朋学園大学院大学教授、東京音楽大学客員教授を歴任。桐朋学園大学院大学名誉教授。

演奏曲 新実徳英：女声合唱曲集「空に、樹に…」

合唱：愛知県立芸術大学女声合唱団

指揮：新実徳英 永ひろこ ピアノ：西川楓花

2026年9月25日（金）19:00 開演（18:40 開場）

愛知県立芸術大学奏楽堂 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114

名古屋市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車 徒歩約10分

もしくは名古屋市営地下鉄東山線「本郷」駅又は「藤が丘」駅からタクシーで約15分 ※公共交通機関のご利用を宜しくお願いします

お問い合わせ：愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻 takeshi_hatsukano@mail.aichi-fam-u.ac.jp